



# 桜水 2023



学校内の草花（10月）

【教育目標】 何事にもすすんで取り組み、気概をもって立ち向かう、心豊かな児童の育成をめざす

- 心の豊かな子ども（交流）
- 健康でたくましい子ども（挑戦）
- 意欲的に考える子ども（自立）

## 秋の訪れ

朝夕の涼しさや夜の虫の声に本格的な秋を感じるようになってきました。皆様におかれましてはますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、学校では、10月28日(土)に行われます桜水発表会に向けた計画や準備がはじまっています。これから発表に向け、練習にも熱が入ってくると思います。詳しい案内は後日お子様を通してお知らせしますが、各学年とも最高の子どもの姿を見てもらおうと意欲満々ですので、保護者の皆様におきましては当日ぜひ参観くださいますようよろしくお願いします。



一日の気温の差が大きいこの時期、外気に合わせて自分で上着を着たり脱いだりできるようにさせながら子どもの体調管理に努めてまいります。保護者の皆様のご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願いします。（校長 菅野 哲哉）

-自己BESTをめざして-  
令和5年度  
第10回いわせ地区小学校陸上競技交流大会

10月5日(木) 鳥見山陸上競技場で開催された大会では、多数の保護者の皆様のご声援ありがとうございました。また、テント設営・撤去にご協力いただきました皆様、ありがとうございました。雨混じりの寒い中での開催となりましたが、すべての子どもたちが自己記録の更新を目指し、100M走Bに出場した児童は全員が目標を達成しました。各競技に出場した子どもも好記録が続出した大会となりました。伸び盛りの子どもたちです。引き続き体育の時間などで、一人一人の体力向上に取り組んでいきます。



大会を終えて 6年 松本 陸  
ハードル走で1位、リレーで2位となりうれしかったです。

ハードル走では8位の入賞をめざしていましたがまさか1位をとれるとは思っていませんでしたのでうれしかったです。跳び方や走り方などを教えてくださった荒木先生に感謝しています。

リレーはアンカーでした。バトンパス決勝では3走の佐川 希歩くんから今までにないぐらいうまくバトンをもらうことができました。できれば、1位になりたかったので悔しい気持ちがあります。

大会をとおして、努力をすれば結果が付いてくるということを学びました。大会までよく支えてくれた友達、先生、親に感謝しています。学んだことを今後に生かしていきます。

## -入賞おめでとう-

※ 児童はすべて6年です。

- |               |               |                               |
|---------------|---------------|-------------------------------|
| 男子100M        | 第6位 (13秒75)   | 秋元 翔汰                         |
| 男子80MH        | 第1位 (13秒50)   | 松本 陸                          |
|               | 第2位 (13秒57)   | 松井 大河                         |
| 女子80MH        | 第2位 (14秒40)   | 吉田 心爽                         |
| 女子800M        | 第8位 (2分53秒34) | 森山 未結                         |
| 男子走り幅跳び       | 第2位 (4m31cm)  | 佐川 希歩                         |
| 女子走り高跳び       | 第7位 (1m15cm)  | 宗形 海美                         |
|               | 第8位 (1m15cm)  | 二瓶 咲椰                         |
| 男子ジャバリックボール投げ | 第1位 (57m73cm) | 佐藤 颯介                         |
| 女子ジャバリックボール投げ | 第7位 (27m92cm) | 小沼 結心                         |
| 男子4×100mR     | 第2位 (55秒64)   | 秋元 翔汰 芳賀 圭祥 佐川 希歩 松本 陸 松井 大河  |
| 女子4×100mR     | 第6位 (55秒64)   | 吉田 心爽 二瓶 咲椰 小沼 結心 宗形 海美 大和田杏南 |



# 夢中になって学ぶ子どもをめざして

須賀川市教育委員会では、一人残らずの子どもの学びを保障するため、「授業と授業研究を第一優先にした学校づくり」を推進しています。このことを受け、本校でも授業の質の向上をめざし、今、授業で求められている主体的・対話的で深い学び（＝協同的な学び）による夢中になって学ぶ子どもの実現に向けた日々の授業の挑戦を続けています。

主体的・対話的で深い学び（＝協同的な学び）とは、「ペアやグループで友達同士支え合い、探究的に学びながら一人残らずの子どもが夢中になって課題を解決していく学習」です。この一年で子どもも子どもの学びを支える教師も大きく変わり、生徒指導上の問題が激減するとともに学力も向上しています。

二学期に入ってから、市学校教育アドバイザー 永島孝嗣先生、埼玉大学名誉教授（須賀川市教育研修センター指導主事） 庄司康生先生、東海国語教育を学ぶ会 石井順治先生が来校し、授業の様子を参観しました。その様子について、「子どもが居心地良さそうに学んでいる」「昨年と比べて、様々な面で学校がよい方向に変わっている。穏やかさが増し、教師も子どもも笑顔に満ちている」など、うれしい話をいただきました。近隣の学校からも注目され、郡山市や鏡石町、三春町などから学校を訪問してほしいと依頼があったり、11月には教育委員会主催の「授業づくり研修会」で、6年生の子どもが学ぶ様子を市内教員に見せてほしいと依頼があったりしています。

教職員一同、が授業を通して子どもの学びから学びながら、さらに子どもが伸びるよう努めてまいります。



▲ 9月27日 学校教育アドバイザー訪問 (1の1 算数 3の2 社会)

▲ 10月6日 教育研修センター庄司先生訪問 (ひまわり2 国語 6の2 理科)

▲ 10月10日 東海国語教育を学ぶ会石井順治先生訪問 (1の2 国語 3の3 国語)

## 自分の命は自分で守る -予告なしの避難訓練(9月22日) 命の大切さを考える集会(10月18日) -

東日本大震災の経験やかつて本校児童が大きな交通事故にあった経験から、学校では、子どもの命を守り、安全な学校生活を送ることができるよう様々な取り組みを行っています。

### (1) 予告なしの避難訓練

今年3回目の避難訓練は予告なし。9月22日(金)の休み時間、子どもは自由に過ごしています。そんな中、大きな地震の発生と給食室からの出火。休み時間であっても子どもは校内放送をよく聞き、集合場所である校庭南側へ無事集まることができました。とても立派な態度で行うことができ、意識の高さがうかがえました。



▲ 予告なしの避難訓練の様子

### (2) 命の大切さを考える集会(10月18日)

各学級では10月10日(火)～10月20日(金)までの間に道徳等の授業で命の大切さを扱い、子どもたちの意識を高めるようにしています。10月18日(水)は「交通事故から身を守る」をテーマにテレビ放送にて集会を実施しました。校長からは「信号機の赤・青・黄」のそれぞれの色の意味について、安全指導(登校班)担当からは安全な集団登校と下校について話がありました。

登下校時は、ボランティアの方、警察署員の方などにいつも見守っていただいているところですが、学年に応じた危険判断力を身に付けさせたいと考えています。



▲ 命の大切さを考える集会の様子

## お知らせ

### 1 授業参観の実施について

過日ご案内をさせていただきましたが、10月28日(土)に桜水発表会を本校体育館にて開催します。

以下の2点ご協力よろしくお願ひします。

- ・ 参観は一家庭2人まで ※ 乳幼児は人数に含まれません。
- ・ 駐車場は、須賀川市役所となっています。校内及び防災公園には駐車できません。

詳しくはお手元の配布物を参照されるようお願いいたします。

### 2 学校のHPについて

第一小学校ではできるだけ詳しく伝わりやすいように毎日のできごとをHPにアップするようにしています。こうすることで学校だよりの限られたスペースではお伝えできなかったことも伝えていきたいと考えています。まだ、第一小学校のHPをご覧になっていない保護者の方がおりましたらぜひご覧になっていただきたくお願ひいたします。

### 3 感染症について

インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症とも現在本校では落ち着いた状態にあります。流行の季節である冬に備え、予防に努めるよう働きかけてまいります。ご協力よろしくお願ひします。

## 教育実習 本校卒業生が本校の教育活動から学んだこと

9月5日(火)から10月2日(月)まで、教員になることをめざし大学で学んでいる学生(本校卒業)が教育実習を行いました。教育実習とは、「学校現場で一定期間過ごしながらか学校や子どもから学ぶ研修」です。

5年生を中心に子どもに関わってもらいながら本校の教育活動に触れ、生活指導や授業なども行いました。「多くのことを感じ、学びました。明るく優しい子どもがいっぱいいますね。よい学校の教員になれるようますますがんばります。」と校内放送で子どもに別れの挨拶をしました。保護者の皆様にもよろしくとのことでした。本校の卒業生でもありますので、また会う機会もあるかと思ひます。どこかで再会したとき、元気に挨拶ができるといいですね。



## -入賞おめでとう-

### <令和5年度理科作品展>

- ・ 部長賞 志田 湊(5年)
- ・ 特選 関根 陽夏(1年) 成田悠一郎(3年) 国分 翔(3年)
- ・ 小平 侑真(4年) 関根 陽詩(5年)

### <県防犯協会連合会地域安全作文コンクール>

- ・ 小学生の部 最優秀賞 後藤 優衣(3年)

